

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	宮城県	事業実施主体	丸森町	地域再生計画名	丸森町「地域資源を活かした観光交流推進計画」
計画期間	平成28年度～令和2年度	評価責任者	丸森町建設課長		

地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値			最終目標値			事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価
			基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標 総数	達成 数				
地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	観光交流人口の増加	57万人/年	H25	64万人/年	H30	58万人/年	66万人/年	R2	39万人/年	×	3	0.5	令和元年東日本台風被害が要因で目標を大きく下回ったと考えられる。
	指標 2	森林整備の促進	160ha/年	H25	170ha/年	H30	119ha/年	180ha/年	R2	125ha/年	×	3	0.5	震災関連住宅建設等の木材需要減少や、丸森町における人口減少や、森林管理を行う人材の高齢化等が要因で目標を下回った。また、令和元年東日本台風による被災も考えられる。
	指標 3	不動尊公園利用者数	9,661人/年	H25	9,780人/年	H30	14,923人/年	9,840人/年	R2	9,369人/年				中間実績では整備に加え、イベント等ソフト面でのPRの結果目標値を大きく上回った。しかし、令和元年東日本台風により町内全域が被災し、施設休園も伴い、目標を若干下回った。
地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1													
	指標 2													
事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度（H30）	最終実績									
特別措置を適用して行う事業	町道奈良又竹ノ内線		1.5km	0.255km	0.255km	令和元年東日本台風発生により町内全域が被災し、災害復旧事業を優先する運びとなり完成に至らなかった。（完成区間0.255km、整備着手区間としては+0.189km、完成区間と合わせ、計0.444kmを整備着手済み。）								
	林道鷲の平線		2.6km	0.507km	0.507km	令和元年東日本台風発生により本路線が被災し、道路流出等が要因で整備困難となり完成に至らなかった。								
その他の事業														
計画外で独自に実施した事業														
評価方法	行政評価委員会にて施策を評価													
事後評価の公表方法	丸森町建設課のホームページに掲載													
計画全体の総合評価	令和元年東日本台風被害により、整備が進められず、各指標に対する目標を達成することが出来なかった。しかし、本地域再生計画の目標である観光振興や定住促進、林業振興の達成に向けては、町道及び林道の一体的な整備は必要不可欠であり、地元住民からのニーズも高い。加えて、路線選定や路線配置の観点からも本地域は町道及び林道を総合的に整備する効率性が高く、それにより相乗効果の発揮も期待されることから本交付金制度を活用するメリットは大きいと考えられる。また、計画において地域再生の目標や重要業績評価指標を適正に設定しており、事業実施中も進捗の評価や必要に応じた対策や軌道修正を行うことが可能となっている。以上のことから、地方創生推進交付金を活用して道の整備事業を行う本地域再生計画を実施する意義は大きいと評価する。													
今後の方針等	新たな地域再生計画を作成し、町道については本計画で未整備となった残る延長整備し、また林道については新たな路線を設定することで事業を活用していきたい。													